事業内容、事業の効果に関する写真

【活動 0-2】西シンジャイ郡関係者会合
郡事務所秘書官、地区長、酪農グループリーダー、人工授精師ら関係者による会合を開催し、活動について協議した

【活動 0-3】専門家派遣（獣医師、中野光志）
酪農家の飼育状況を巡回モニタリングし、運動やブラッシングの必要性について指導する中野専門家（赤丸）

【活動 0-3】専門家派遣（獣医師、若槻義弘）
巡回指導で、人工授精師に人工授精技術（ストロー注入方法）を指導する若槻専門家（赤丸）

【活動 0-3】専門家派遣（獣医師、別所忠悟）
人工授精師による台帳記録が正しくなされているかモニタリング指導する別所専門家（赤丸）

【活動 0-3】専門家派遣（酪農経営、有馬儀信）
農業グループによる堆肥作製状況をモニタリング指導する有馬専門家（赤丸）

【活動 0-3】専門家派遣（酪農行政、吉浜彰啓）
試験田圃で新草種の生育状況をモニタリングする吉浜専門家（赤丸）

【活動 0-4】中間モニタリング

中間モニタリングで、農業普及員らにインタビューする竹久本部事業担当者（赤丸）

【活動 1-1】人工授精師技術研修

本事業期間中に 3 回開催し、延べ 25 名の人工授精師が受講した（写真は繁殖カレンダー利用方法に関する講義の様子）

【活動 1-1】人工授精師技術研修

講師（日本人専門家）と受講者（人工授精師）の集合写真

【活動 2-2】糞尿処理研修

本事業期間中に 4 回開催し、述べ 78 名の酪農家、農業グループメンバー、婦人部メンバーらが参加した

【活動 2-3】酪農技術研修

研修では講義に加え、推定尺利用や頭絡作製・装着実習も行った（写真は推定尺利用法演習の様子）

【活動 2-3】糞尿処理状況モニタリング

牛溝に糞尿が散乱することなく、取り除かれるようになった。一部牛糞は、堆肥化に活用されている。

【活動 3-1】飼料給与改善技術研修

農業普及員らに対し、飼料作物の施肥、根の養分吸収、飼料作物の好適土壌 pH、さし木法などについて研修を開催した

【活動 3-3】新草種の試験栽培

県畜産局敷地などで新草種 6 種を試験栽培し、うち 4 種が事業地の土壌に適していることが判明した

【活動 3-4】未利用飼料の利用促進

餌不足を補うため、これまで利用していなかった飼料（ネムノキ、芋づる、インディゴなど）も活用するようになった

【活動 3-5】組合研修

酪農協同組合以外の組合からも幅広い参加を得られ、活発な情報・意見交換がなされた

【活動 4-1】スクールミルクプログラム

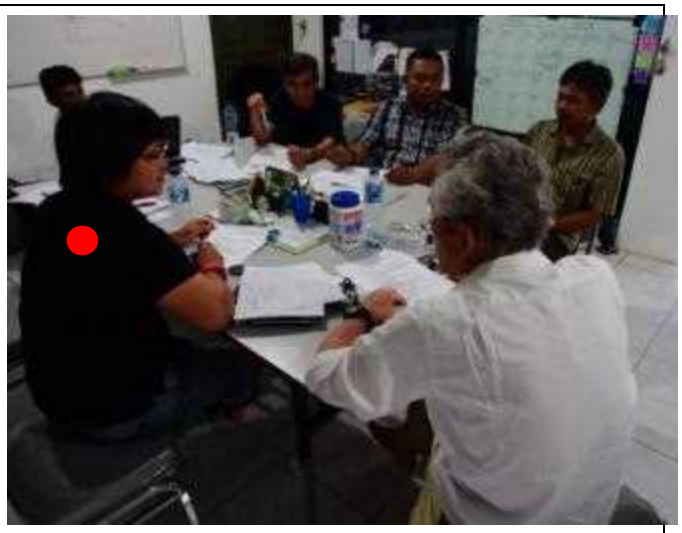
モデル小学校で週 3 日、地元で搾乳・加工された牛乳を配布した

【活動 4-1】スクールミルクプログラム

健康教育では、保健委員が中心となり、様々な健康教育を実施した（健康な体と不健康な体に関するゲームの様子）

【活動 4-1】郡校長会議

郡校長会議でスクールミルクプログラムが紹介された（牛乳の歌を校長自身が斉唱している様子）



【その他】現地事業責任者派遣

梶田事業責任者（赤丸）が、本事業の運営管理を統括した（日本人専門家、事業スタッフと会議を実施している様子）

【その他】島根県知事表敬訪問

パートナー団体（三瓶スラウェシ友好促進センター）を所轄する島根県知事（赤丸）に対し、本事業活動を報告した

【その他】作成した事業広報資料

事業広報資料（パンフレット、ニュースレター、報告書など）を作成し、日本国内において幅広い方々に、日本からの支援である本事業を広報した